

	受験者の資格 (D級検定員、C級インストラクターは講習会)	学科試験の内容 (D級検定員、C級インストラクターは講習)	実技試験の内容	取得後の活用先	アドバイス試験対策	受験費用	試験開催予定時期	資格の有効条件	資格の更新条件	資格の抹消
インストラクター	A級	・B級インストラクター資格所持者で資格が有効な者 ・B級インストラクター資格取得後、公認・認定スキーボードスクールで20単位(40時間)以上の指導を行い、それを証明できる者	技術・指導法・ルールマナー・救急法等に関する事項:「JSBAスキーボード教程」より。オフィシャルハンドブックより規約規程を出題。	●ベーシックカーブ ロング ●ムーンスライド ミドル ●ベーシックカーブ ショート ●フリーライディング ●ダイナミックカーブ ショート ●エア	公認・認定スクールの校長をすることができる(※満20歳以上に限る)	所属スクールで指導を受ける。またはJSBA公認スキーボード学校においてデモンストレーターやA級インストラクターに苦手な部分をコーチしてもらおう。	学科受験料 7,500円(税別) 実技受験料 16,000円(税別)	学科検定は室内、実技検定は屋外での開催。各地区協会にて開催。 3年度に1度資格更新手続きをすること。 3年度に1度年次講習会を受講すること。	毎年会員登録を継続すること。 3年度に1度資格更新手続きをすること。 (申請書、写真の提出、更新料14500円(税別)の支払い)	会員登録をせず、丸1年を経過した場合。 資格更新をせず、丸1年を経過した場合。
	B級	・C級インストラクター資格所持者で資格が有効な者 ・学科合格後、実技試験前に公認スキーボード学校にて実技事前講習を4単位(8時間)以上行い、それを証明できる者		●ベーシックカーブ ロング ●フールスライド ミドル ●ベーシックカーブ ショート ●フリーライディング ●ダイナミックカーブ ショート ●エア	認定スキーボードスクールの校長をすることができる(※満20歳以上に限る)	所属スクールで指導を受ける。またはJSBA公認スキーボード学校においてデモンストレーターやA級・B級インストラクターに苦手な部分をコーチしてもらおう。	学科受験料 6,500円(税別) 実技受験料 11,500円(税別)	学科検定は室内、実技検定は屋外での開催。各地区協会にて開催。	毎年会員登録を継続すること。 3年度に1度資格更新手続きをすること。 (申請書、写真の提出、更新料12500円(税別)の支払い)	
	C級	・申込日までに満18歳以上 ・バジジテスト1級を所持していることを証明できる者 ※公認プロおよび全日本選手権上位入賞者は免除あり ・規定の救急法講習会を修了していること	「JSBAスキーボード教程」、C級インストラクターテキストによる講習	なし	JSBA公認学校、認定スクールにてインストラクター登録が出来る	「JSBAスキーボード教程」を徹底的に読み込む。 (完全予習の義務があります) 認定講習会は2日間で開催、実技試験はなし。	受講料 19,000円(税別)	各地区協会にて毎年複数回開催。詳しい開催日程はJSBA公式サイト(www.jsba.or.jp)等にて掲載。	毎年会員登録を継続すること。 3年度に1度資格更新手続きをすること。 (申請書、写真の提出、更新料10500円(税別)の支払い)	
検定員	A級	・A級インストラクターとB級検定員資格所持者でその両資格が有効な者 ・B級検定員資格取得後、3回以上B級インストラクター検定会の検定員、または模擬検定員として検定を行い、それを証明できる者	バジジテスト・インストラクター検定に関する事項:「JSBAスキーボード教程」より種目に関する技術。オフィシャルハンドブックより規約規程を出題	スキーボード検定規定による実技試験の要領で、インストラクター試験又は模擬滑走者の試技を検定	全ての検定員、インストラクターの検定会、及びバジジテスト、TECH TEST全級の検定	各地区協会で開催する検定会に研修員として参加し、採点方法や運営方法の研修を行うことができる ※各地区協会へ事前に参加を申し込むことが必要	学科受験料 5,000円(税別) 実技受験料 9,500円(税別)	学科検定は室内、実技検定は屋外での開催。各地区協会にて開催。	毎年会員登録を継続すること。 3年度に1度資格更新手続きをすること。 (申請書、写真の提出、更新料7500円(税別)の支払い)	
	B級	・A級インストラクターとC級検定員資格所持者でその両資格が有効な者 ・C級検定員資格取得後、3回以上バジジテストの主任検定員を行い、それを証明できる者			B・C級検定員とB級インストラクター検定会、及びバジジテスト全級、TECH TEST1、2級の検定		学科検定は室内、実技検定は屋外での開催。各地区協会にて開催。			
	C級	・B級インストラクター以上の資格とD級検定員資格保持者でその両資格が有効な者 ・D級検定員資格取得後、3回以上バジジテスト3～5級の検定員、または1～2級の模擬検定員として検定を行い、それを証明できる者	バジジテストに関する事項:「JSBAスキーボード教程」より種目に関する技術。オフィシャルハンドブックより規約規程を出題	スキーボード検定規定による実技試験の要領で、バジジテスト受験者又は模擬滑走者の試技を検定	スキーボードバジジテスト全級の検定	所属する各公認学校で開催するスキーボードバジジテストに研修として参加、または着眼点の勉強をしていくとGOOD ※研修参加は各校の運用規程によるので事前に確認が必要		学科検定は室内、実技検定は屋外での開催。各地区協会にて開催。		
	D級	・C級インストラクター以上の資格所持者でその資格が有効な者 ・C級インストラクター資格取得後、10単位(20時間)以上指導実務を行い、それを証明できる者	バジジテスト検定規定、バジジテスト運営要領、着眼点の理解、点数のつけ方など検定員に必要な事項の講習	なし	スキーボードバジジテスト3級～5級の検定		受講料 9,500円(税別)	各地区協会にて毎年複数回開催。詳しい開催日程はJSBA公式サイト(www.jsba.or.jp)等にて掲載。		

#### 【A・B・C級公認インストラクター】

その名の通り、スキーボーダーを公に指導することができるのがこの資格。バジジテスト1級所持者が受験できるC級インストラクターと、その上のグレードに値するA級、B級インストラクターがある。なお、A級はJSBA公認スキーボードスクール(スキー場にて常設されているスクール)を、B級では認定スキーボードスクール(非常設)を、校長として開校することができる。C級インストラクターはJSBA公認学校、認定スクールにてインストラクター登録ができる。

#### 【A・B・C・D級公認検定員】

バジジテストや、インストラクターの試験を行う際に合格者を判断する人＝検定員になるための資格。D級検定員はバジジテスト3級～5級の検定を、C級検定員はバジジテスト全級の検定を、B級検定員はバジジテスト、TECH1・2、B級インストラクターの検定を、A級検定員ではバジジテスト、TECH、TEST、A・B級インストラクターの検定をすることができる。

#### インストラクター・検定員の資格を取得したら・・・

① 毎年の会員登録が必要です。

② 3年度に1度、資格更新書類の提出と更新料の支払いが必要です。

※有効期限は資格認定証に記載されています。

③ 資格を行使するには、3年度の任期中に1回以上年次講習会を受講する必要があります。

※2015年度に資格を取得された方の任期は2015年度～2017年度(2018年8月31日)までとなります。

任期中に年次講習会を受講されなかった場合は、資格更新後「資格停止」となります。